

栄村復興支援機構「結い」 希望のたね通信

第26号

みなさんこんにちは！結いのしよです。今年の雪は多かったですねーと言いつつも田植え時期。光陰矢のごとし、いかがお過ごしですか？

結いでは震災から一年を過ぎて、中期から長期的支援活動はより個別化し、結いでも支援をどうしていくのか検討中です。昨年同様に農業支援として各地区への支援は人的なことになると思いますが、独り暮らしの方などはその人によって異なり地域による違いなど不安の様子があつたかみにくいので人の数では解決が尽きません。一人の不安は栄村の不安です。ボランティアとして結いに登録する方も少なくなっています。それでもまだ栄村では支援が必要ですね！と状況を聞きながらお役にたてればと復興支援機構に希望日を登録していきます。

被災した人への支援、被災した村への支援活動を今後も続けていくことになりました。少ない運営資金ですが、要望のあるところにはできる限り雨が降っても槍が降っても出向く心構えです。皆様の声「結い」へお届けください。

ながの。パルセイロの観戦

5月19日南長野総合球技場にて栄村復興試合として長野。パルセイロとホンダロックの試合を観戦に行きました。社長の出迎えを得てスタジアムへ。日本の長野県長野市を中心とした北信地域にホームを置く、日本フットボールリーグ（JFL）に所属するサッカークラブ。Jリーグ加盟を目指すクラブの一つである。これは長野。パルセイロの招待で迎えるバスの中では背番号12番のユニフォームをしゃんけんでもらい、応援の仕方を練習するなど盛り上がりしました。試合は2-0で。パルセイロの快勝



今月はこんな方がお見えになりました。現在の活動の中身はなんでしょう？という電話からこちらの様子をお話しすると、それでは活動支援金をお持ちします。そして何かお手伝いができませんか？

80歳になるのでそんな無理な仕事をもらうわけにもいかず、「結い」でお付き合いのある人のところに案内し傾聴支援。お茶も、お菓子もこちらで買う方がいいのですよね。とてもしっかりした方でした。義捐金は長いこと面倒を見た友人がなくなり、有効に使ってくださいと預けられたので、あたしが使うのではなく被災した人への支援ということで東北にもこれから行く予定にしています。と静かに話しました。

同じく今度は男性の81歳の方。テレビで見た人が気になって思い切っ出て出向きましたと蒲田の人です。ガンを患い手術後こうして動けることに感謝してお見舞いに来たと涙気にお話をしていました。飯山生まれ、若いときに東京に出てすし職人になり小さな店を持つことができましたが、今は厳しい営業状況ですと話すのですが、わずかばかりですとお見舞金を渡す時安らかな顔をしていました。

今年も信州大学の農援隊が活躍しています。多いときは15人ほどがお見えです。今年のボランティア保険は自己負担になってしまいましたが、黙々と汗を流しています。

「結いのしよ」に手伝ってもらいたいこと・相談したいことがあったら…？

→「結い」に直接お越しいただくか、お電話をください。お手伝いの内容をお伺いします。

栄村復興支援機構「結い」
(8:30~17:00)
場所:森宮野原駅交流館2階
電話:050-3583-2122

